

## 投資事業評価調書（新規）

部課室名	農林水産部 農林水産局 農村環境課	記入責任者職氏名  (担当者氏名)	課長 常友永市  (主幹兼田園空間係長 新見明)	内線	3931  (4028)
------	-------------------------	-------------------------	--------------------------------	----	--------------------

事業種目	農村総合整備	事業名	事業区間	総事業費	約4億円	
		むらづくり交付金	揖保川地区	内用地補償費	- 億円	
所在地				事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
揖保郡揖保川町全域				H17	H17	H22
事業目的			事業内容			
町の農村振興基本計画に謳われている「都市近郊農業の振興」や「水と緑にふれあう豊かな自然」を推進するため、加工直売施設の用地を整備するとともに、用排水路等の農業生産基盤の整備と親水空間等の農村生活環境の整備等を総合的に実施する。  事業主体: 揖保川町			農業生産基盤 用排水路:L=2.2km、農道:L=1.9km [国:50% 県:13% 町12.5% 地元:24.5%] 環境施設(生産基盤) 農業集落道:L=0.5km [国:50% 県:6% 町12.5% 地元:31.5%] 環境施設(生活改善) 用地整備(農産加工・直売施設):A=0.1ha 関連事業: 町単独事業 ため池防護柵:L=0.3km ため池遊歩道:L=0.9km [国:50% 県:1% 町12.5% 地元:36.5%]			
評価視点	評価結果の説明					
(1)必要性	町内の農村地域の活性化を図るため、高付加価値産物としてトマトなどの特産品の収益性をさらに高める、また農村都市交流を拡大する加工・直売施設の整備が必要である。また、昭和40年代に整備され、老朽化した農業用排水路等の整備やため池の親水整備など、農業生産性の向上と快適な農村環境づくりが必要である。					
(2)有効性・効率性	加工・直売施設により、雇用拡大が見込まれるとともに都市との交流促進が図られる。また、用排水路等の改修によって、維持管理の節減及び排水改良等による生産性向上が見込まれる。  本事業の費用便益比B/Cは1.28で、事業効果が十分期待できる。					
(3)環境適合性	水路整備では魚巢ブロック及び這上り部分の設置工法を用いて、水生生物の生態系保全に配慮する。  加工・販売施設整備に合わせ、地域農業の有機減農薬栽培を促進する。					
(4)優先性	平成18年度に農産加工・直売施設(町単独事業)が開業予定で地元でもすでに準備がすすめられており、早急な用地整備が必要である。 また、維持管理が困難となった老朽化水路の早期改修、都市との交流拠点ともなるため池の水辺空間整備など、総合的整備が急がれる。					